

## 社会福祉センターの再生イメージ（5本柱）

### ① 多種多様な職場開拓

シルバー世代等を中心とした『生活に関する問題（住まい・借金等）は抱えていないが、将来的な困窮が想定される方』に対し、寄り添い方の就労支援等を行うことで、生活困窮への予防・早期発見を図る。

### ② 福祉作業所

現在の利用者に配慮しつつ、高齢者等の就労の場である福祉作業所について、さらに就労機会の提供という機能を高めた場へと、段階的に移行していく。

### ③ 健康寿命の延伸と地域醸成加速に向けた事業

自助や互助（共助）を広げていくことを目的に、「地域づくり・地域の醸成」に主眼を置いた集いの場の提供。

### ④ 知的障害成人余暇活動支援

主に知的障害のある成年・成人期の方の休日・就労後の居場所作り。

### ⑤ 喫茶コーナー（中間就労や人とかかわるための喫茶コーナー）

社会福祉センターの機能を連携させることを目的に設置。中間就労の場として活用できるほか、集会室へのお茶の販売、地域活動後の飲食等により「人とつながるための場」として活用。